

ゆっくり急いで日々発見 子育て日記『一蓮成長』



我が家の三兄弟はスマホ持ち。長男の蓮（れん・高2）と次男の龍（りゅう・中3）は通話付きのデータ容量少ないプラン（月500円くらい）、三男の豪（こう・小6）はwi-fiのみです。蓮は一日中スマホを持ってイヤホンしてます。もう制御不能で心配ですが、高校では生徒会長になったようなので、リアル生活を充実させてバランスを取りましょう。龍は驚くほどスマホやSNSに無関心。目的があるときにしか使いません。LINEが鳴っても「どうせクラス（のグループ）LINEだよ」とスルー。豪は友達とオンラインゲームしながら通話など、イマドキな使い方。ショート動画を数十秒のスキマ時間に観ようとするので、父が注意します。じっと待つ時間もときには必要ですよ。

大人でも難しいスマホとの付き合い方。親としては規制したくなる気持ちを抑えて、スマホより楽しいことの割合を高めたいところ。画面の中の刹那的快楽や、代金を支払って受けるサービスよりも、自分で楽しいことを作るように育ってほしいですね。

中西レオの 月イチ！報告会

※場所はいずれもアスピア明石



- 8月31日(日) 14:00～16:00 ウイズあかし803
- 9月27日(土) 10:00～12:00 ウイズあかし801
- 10月28日(火) 14:00～16:00 ウイズあかし703

予約不要、途中参加・途中退席OK、子連れ・赤ちゃん連れOK

レオナデス通信をご覧いただきありがとうございます。これまでの参議院選挙は全国比例にタレントやスポーツ選手が出て、人気投票の要素が強いものでしたが、今回の参院選はタレント候補が少なく、マスコミも物価高対策やコメ不足・高騰対策、日米関税交渉、減税が給付か、といった国民の関心の高い課題について各党の主張を報じていたように思います。

また、各候補・各党の主張に対して選挙中にファクトチェックが行われました。これまでは公平性を過度に重視して、事実かどうかの指摘は選挙後にしか報じられませんでした。ファクトチェックがあることで有権者は冷静な判断ができますし、候補者のいい加減な発言を控える効果があったと思います。

「中西さん、参院選の応援で忙しいんでしょう？」と聞かれることも多かったのですが、無所属の身としてはどこの陣営も応援せず、イチ有権者の視点で選挙を感じられました。

□ ■ 終わりに～拝啓読者さま～ □

中西礼皇プロフィール・経歴

- 1979年8月17日生(46歳) O型 しし座
- 東京サミット開催、ウォークマン発売の年に生まれる
- 5歳上の兄、2歳上の姉がいる末っ子
- 同い年の有名人：仲間由紀恵、三宅健、杉村太蔵
- 神戸学院大学法学部法律学科卒
- 大学在学中にビジネスプランコンテストで入賞
サンフランシスコ等で研修を受け起業を決意
- 卒業後バイクイベントコンサルタントを創業
日韓サッカーW杯、牛肉偽装事件、バリ島爆弾テロなどがあった2002年に社会に出る
- たこフェリー乗り場でたこ焼き屋を開店
- 明石市長選や衆院選で事務局を経験し政治に目覚める
- フェリー乗り場で事業拡大、レストランたこたこ亭開店、毎月ジャズライブを開催
- 2007年27歳で明石市議に初当選、3期連続当選
- 明石市議会U39討論会を開催、政治家の政策コンテストであるマニフェスト大賞で入賞
- 関西若手議員の会会長、全国若手市議会議員の会副会長として活動、全国に仲間を作る
- 2019年県議選で落選、4年間の浪人、議会と市長の対立
- 2023年明石市議に返り咲き(4期目)
- 家族：妻と三人の息子(高2、中3、小6)
- 趣味：キャンプ、ホームパーティー、釣り
- 特技：餅つき(ひっくり返す方)、街頭演説、ぷよぷよ

【最近の読書→書評に挑戦】

- 人間の本性 人間社会を自分が生き延びるための本能
(アルフレッド・アドラー)
「なぜその本性に至るのか」が書かれた心理学の本。人間を知り、自分を知るために大人が読んでおきたい良書。本屋で一目ぼれ購入。本性って悪い意味で使いがち。
- ワースト添加物 (中戸川貢)
紹介いただいた本。物価高騰でつい手を伸ばしがちな安い食品等で気を付けるポイントが書かれています。ちょっと裏付け・ソースが弱いと感じた。
- 戦の国 (沖方丁)
6人の戦国武将を時間軸のバトンでリレーする短編集。小早川秀秋や豊臣秀頼の視点は珍しい。関ヶ原の合戦での大谷吉継の立ち回りはいつも胸を熱くさせます。
- やさしくわかる生徒指導提要ガイドブック (八並光俊、他)
文科省の生徒指導提要を解説した虎の巻。いじめ、不行、チーム学校のほか、自殺予防も含めて幅広い反面、もう少し踏み込んだ内容がほしかった。
- 捨てる生き方 (小野龍光、香山リカ)
紹介いただいた本。IT長者だったのに全てを捨ててインド仏教のお坊さんになった人と精神科医の対談。幸せの定義は常に更新して生きたい。
- 源氏物語 明石のうへのおやすみしあと (義根益美)
第5代明石城主の松平忠国や明石の町にある史跡という現実と、源氏物語というフィクションを交差させている文学と歴史を合わせた地域学の本。370年前の息吹は今も明石で感じられます。

中西レオ応援団への入会をお願いします

発行：中西レオ応援団

〒673-0844 明石市東野町1970-4

reo@nakanishireo.com



LINE



メール

中西礼皇